

米軍基地問題

で市長と懇談

神奈川県相模原

市で河上氏ら

公明党の河上覃雄衆院議員は13日、神奈川県相模原市役所を訪れ、キヤンプ座間をはじめとする米軍基地問題について、小川勇夫市長と意見交換した。これには富田光男、渡辺均の両県議と、

小林一郎、山田弘、菅原康行の各市議も同席した

【写真】。

同市では12日から、小



川市長が会長を務める「相模原市米軍基地返還促進等市民協議会」が基地問題の早期解決を求める署名活動を開始。協議会は市議会や自治会連合会などで構成されており、20万人を目標に7月中旬まで署名活動が行われる。

席上、小川市長は、米軍基地の早期返還と騒音問題の解消を長年求めてきたことを訴えるとともに、署名活動の実施状況について説明。

河上氏は、国政の立場、市民の立場として住民の苦勞は承知しているとの考えを示し、署名活動への理解を示した。